

気候情報

2021年11月の日本の天候

- 気温は、北日本でかなり高く、沖縄・奄美で低かった
- 降水量は、北日本、東日本日本海側と西日本太平洋側が多かった
- 日照時間は、東日本でかなり多かった

11月の天気概況

北日本への寒気の流入が弱いことに加え、低気圧の前面で南から暖かい空気が流れ込みやすかった北日本では気温がかなり高くなった。また、低気圧の影響を受けた北日本と東日本日本海側で降水量が多かった。月末に大雨となった西日本太平洋側でも多かった。一方、大陸からの寒気の影響を受けやすかった沖縄・奄美では気温が低くなった。また、中旬を中心に高気圧に覆われやすかった東・西日本では晴れた日が多く、日照時間は東日本でかなり多かった。

上旬：2日から4日にかけて北日本をゆっくり通過した低気圧や上空の寒気の影響により大気の状態が不安定となった。その後、7日頃にかけては北・東・西日本では高気圧に覆われて晴れたところが多かった。一方、東シナ海から日本の南に進んだ低気圧や前線の影響で沖縄・奄美では曇りや雨の日が多かった。8日から10日にかけては、前線を伴う低気圧が中国東北区からゆっくりと東進し、北海道に進んだため全国的に雨が降った。

旬平均気温は、北日本でかなり高く、東日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側、東日本、西日本太平洋側と沖縄・奄美でも多かった。西日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本日本海側と東日本で多かった。一方、北日本太平洋側と沖縄・奄美で少なかった。西日本では平年並だった。

中旬：前半は、サハリン付近に低気圧が停滞する一方、大陸の高気圧が華南付近で強く、西日本中心の西高東低の冬型の気圧配置が持続した。このため、東・西日本太平洋側を中心に晴れた日が多かった。後半は、北日本太平洋側と東・西日本を中心に帯状の高気圧に覆われて晴れた日が多かった。また、19日から20日にかけては前線を伴った低気圧が日本海北部からオホーツク海に進んだため、北日本では雨が降った。

旬平均気温は、北日本でかなり高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、東日本太平洋側でかなり少なく、北日本太平洋側、西日本と沖縄・奄美で少なかった。北・東日本日本海側では平年並だった。

旬間日照時間は、北日本太平洋側と東・西日本でかなり多く、北日本日本海側と沖縄・奄美で多かった。

下旬：21日から24日にかけて、偏西風から切り離されて動きの遅い低気圧が発達しながら日本海北部からオホーツク海に進んだ。この低気圧、前線や寒気の影響で、全国的に雨や雪が降った。低気圧の通過後は西高東低の冬型の気圧配置となり、北・東日本日本海側と沖縄・奄美では曇りや雨や雪の日が多く、東日本太平洋側と西日本では晴れた日が多かった。

旬平均気温は、北日本で高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。東・西日本では平年並だった。

旬降水量は、北日本日本海側と西日本でかなり多く、北日本太平洋側と東日本日本海側で多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

旬間日照時間は、沖縄・奄美でかなり少なかった。一方、東日本太平洋側と西日本で多かった。北日本と東日本日本海側では平年並だった。

11月の気候統計

月平均気温：北日本でかなり高かった。一方、沖縄・奄美で低かった。東・西日本では平年並だった。

月降水量：北日本、東日本日本海側と西日本太平洋側で多かった。東日本太平洋側、西日本日本海側と沖縄・奄美では平年並だった。

月間日照時間：東日本でかなり多く、北日本日本海側と西日本で多かった。北日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

(気象庁大気海洋部観測整備計画課)

—— 11月の記録 (1位更新のみ、タイ記録含む) ——

- ・月平均気温高い方から (°C)
室蘭 (北海道) 8.7など4地点
- ・月降水量多い方から (mm)
釧路 (北海道) 228.0など2地点
- ・月間日照時間多い方から (h)
舞鶴 (京都府) 153.9など15地点

2021年11月の平年差 (比) 図

